



静岡県立
科学技術
高等学校



2025 学校案内



目指せ!! 理系のスペシャリスト



開校から17年 理系高校としての着実な歩み

理系のスペシャリストを育成するために、平成20年に創られた理数科と工業科をもつ新しいタイプの学校です。創造力の育成、課題解決能力の育成、人間力の育成を三つの柱とし、日本の未来を創ることができる「ほんものの力」をつけることを教育方針としています。そのため、実験・実習を通して培われる理系の本物の感性を育てることを大切にしました。工業科はさらに専門性の高い小学科を設置し、県内の科学技術者の養成のみならず、グローバルな感覚をもった世界で活躍できるスペシャリストの育成を目指しています。

高い進学実績 全国公立工業系高校トップクラス

本校は専門高校でありながら高い進学実績を残しています。理数科はほぼ全員が進学します。令和5年度は、国公立大学に、理数科32名、工業科34名が現役で合格しました。国公立大学66名は、全国の工業系の公立高校では第2位です。地元静岡大学には工学部を中心に毎年多くの生徒が合格しています。

就職率は100% 公務員にも多数合格

就職希望者に対する求人数は、過去3年間約6～8倍を維持しており、多くの企業が本校に期待してくださっています。したがって、開校以来就職率は100%です。



恵まれた環境 充実の設備!もちろん空調も!

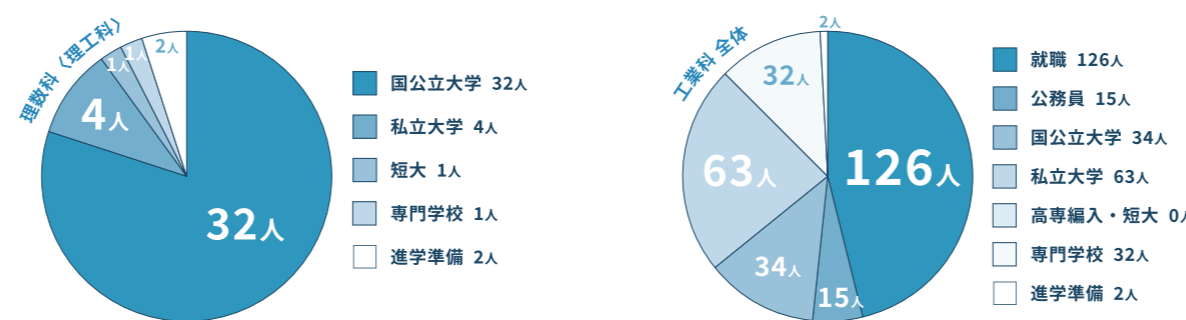
広大な敷地に、5階建ての普通教室棟・3階建ての実習棟が2棟、全面人工芝のグラウンド、全天候のテニスコート、50mプールなど、施設は全国屈指の充実ぶりです。

また工業専門高校ならではの設備（電子顕微鏡や高額な実習装置）も大変充実しています。教室には空調設備もあり、快適な環境で学習することができます。その充実ぶりは全国的に見ても珍しく、他県からの見学者が絶えません。

万全な学力向上対策 毎日7時間授業

より高度で専門的な学習を行うためには普通教科の基礎学力も大切です。また、実験や実習を行うためには時間が必要です。そのため、本校は開校以来1日7時間の授業を行っています。1年間での授業時間が35時間、3年間で105時間を確保している公立高校は、県内では本校だけです。

あなたの希望の進路をかなえる 《進学・就職 令和5年度進路実績》 (数字は人数)



令和5年度 卒業生の声



東京都立大学 都市環境学部
原 伊吹 さん
(理工科卒・静岡市立西奈中学校出身)

理工科では、工業科の実習や課題研究など、他の高校には無い体験ができます。このような体験のおかげで、自分の専門分野を見つけ進路決定や将来の展望を考えることができました。部活動は運動部、文化部ともに活発で、科学技術高校の強みを活かした学科研究部もあります。私は陸上部に所属し、他学科の生徒との交流ができました。部活動で自己分析を行い、自分の練習計画を立てたことは学習計画をつくる際に役立ちました。また、運動をすることが気分転換になっていたと思います。進学指導も手厚く、先生方は親身になって生徒一人ひとりに寄り添った指導をしてください。また、3年間同じクラスのため、良い友人関係を築くことができます。お互いに切磋琢磨し、協力し、仲間と励まし合ったことで、受験を乗り越え、充実した高校生活を送ることができました。



アステラス製薬株式会社
宮崎 春暖 さん
(電子物質工学科卒・焼津市立豊田中学校出身)

電子物質工学科では、機器分析や環境に関する化学の分野から、コンピュータによる制御や通信に関する電子工学の分野まで、幅広い知識を身につけることが出来ました。私は高校3年間で資格取得に力を入れ、国家資格である危険物取扱者の乙種全類と毒物劇物取扱責任者を取得しました。また高校生ものづくりコンテスト化学分析部門にも出場し、県大会、東海大会では優勝、全国大会では3位という結果を残すことが出来ました。科学技術高校には、資格取得や個人活動に打ち込める環境と先生方の熱心なサポートがあります。新たな道に挑戦できる科学技術高校に進学して良かったです。



信州大学 工学部
小川 友也 さん
(情報システム科卒・静岡市立清水庵原中学校出身)

私は高校生活の3年間でプログラミングや電子回路設計などのソフトウェアとハードウェアの両方の専門分野を学び、ITパスポートや第二級デジタル通信などの資格の取得に取り組みしました。また、部活動では生徒会に所属し、学校行事の企画、運営に携わったり、台湾高校生交流に参加し、お互いの文化の違いを学ぶなどの様々な経験をしました。私は科学技術高校での生活を通して自分のやりたいことを見つけました。高校生活に様々な不安があると思いますが、今自分ができることを精一杯やって自分の夢や目標に突き進んでください。

スクールライフ

1日のスケジュール

🕒 福井 秀一郎さん Fukui Shuichiro

ロボット工学科3年 藤枝市立栗葉中学校出身

ロボット工学科では普通科目のほかに、工業科目である機械・電気・情報など幅広く工業の分野を学びます。その特徴は三年生の課題研究で発表される班ごとの様々な作品で表現され、とても面白いです。

5:50	6:50	8:35	12:25	13:10	16:30	18:00	19:00	23:00
起床	登校	授業	昼休み	授業	部活動	下校	帰宅	就寝



8:35 授業

授業には普通科目と工業科目の選択ができるものもあり、自分の学びたい教科を選択し学ぶことができます。



16:30 部活動

部活動は生徒会に所属しています。生徒会長として学校をまとめ、後輩と協力しながら行事の企画・打ち合わせ・実施をしています。



13:10 授業

三年生で行う課題研究では、実習や工業科目の中で学んだ様々なことを活用し、時には先生方の力を借りて作品作りに取り組んでいます。



19:00 帰宅

帰宅後は、資格取得に向けて勉強することが多いです。また、家族に学校での出来事等を伝えるなど、家族との時間を大切にしています。

1日のスケジュール

🕒 市川 美琴さん Ichikawa Mikoto

理工科2年 静岡市立電爪中学校出身

大学進学を目指す理工科では毎日勉強に励んでいます。平日は朝補講に始まり、普通科目と専門科目が毎日7限あり、週末は土曜補講や模試等で学業に勤しんでいます。私は運動部に所属しているので、帰宅は20時過ぎになりますが、充実した日々を過ごす毎日です。

6:30	7:10	7:40	8:35	12:25	13:10	17:00	20:00	22:30
起床	登校	朝補講	授業	昼休み	授業	部活動	帰宅	就寝



7:40 朝補講

毎朝眠い目をこすりながら頑張っています。



13:10 授業「理数探究」

好きなもの・研究したいものを思う存分追求することができます。



9:35 授業「化学」

実験も大事ですが計算も大事。必死に演習問題を解いています。



17:00 部活動

文武両道。そして部員全員で県大会出場を目指して頑張っています。

数理を究め、未来の科学技術を創造しよう 理数科<理工科>

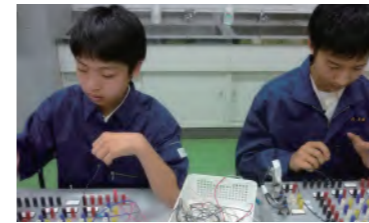


SCIENCE AND TECHNOLOGY

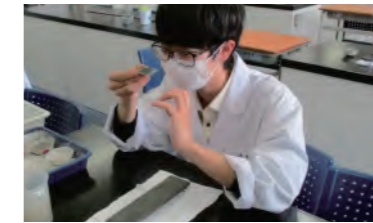
学科概要

1. 数学・理科・英語の授業時間が多い。
2. 数・理・英・国の授業は2集団で行います。
3. 工業科7科の実習が体験できる。
4. 出張授業や校外活動に参加する機会が多い。

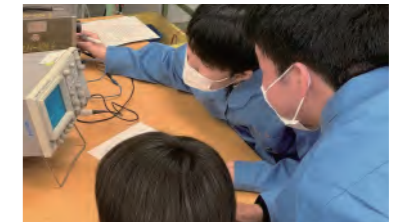
昨年度は、40名中32名が国公立大に現役合格しました。皆さんの『科学の芽』を育て、個々の適性を探すことを支援します。



1年の科学技術基礎



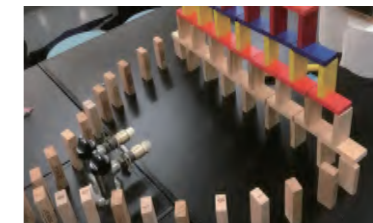
2年の理数探究



3年の科学技術応用



科学の甲子園



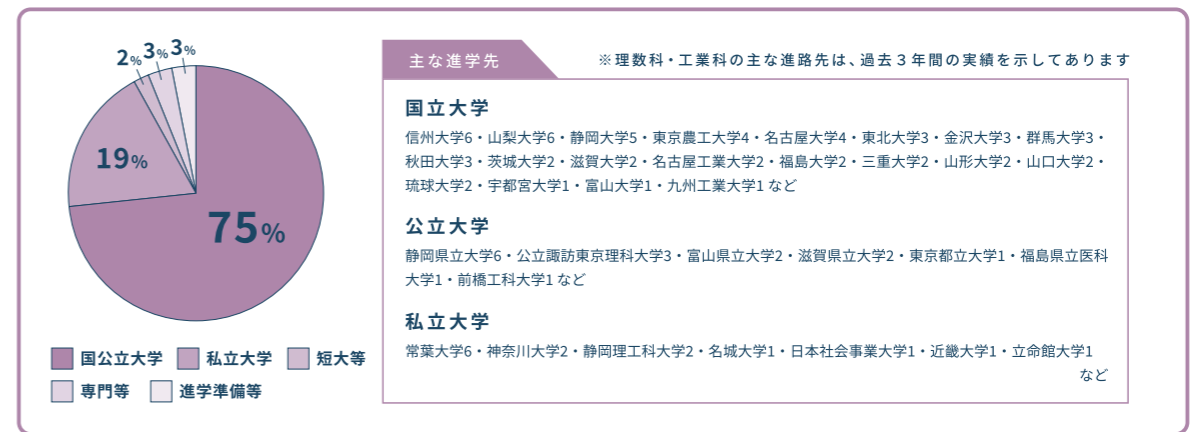
文化祭でのピタゴラ装置作り

● 取得を目指す資格

実用英語技能検定(英検) 2級、準2級
実用数学技能検定(数検) 準1級、2級

● 受検を勧める検定試験

GTEC、TOEICなどの外部検定試験



在校生の声



理数科の自慢できることは？

1、3年生では、工業科7学科の実習ができることです。様々な分野の体験ができるため、興味・関心があることを見つけられます。2年生の理数探究では、2~3人のグループ研究を行います。自分たちが気になることを約半年間の実験や研究を通して確かめ、新しい気づきを見出す達成感を得ることができました。

理数科の授業で印象に残っていることは？

数学、理科、英語、国語の授業を2集団で行うことです。少人数で授業を受けるため、先生との距離感が近く、楽しく授業に取り組むことができます。また、朝補講、土曜補講、放課後補講、グランシップの勉強会など授業以外の学習の機会も充実しています。大学進学に向けて、本気で勉強できる環境が整っています。

(3年生 大石 茜さん 静岡市立清水飯田中学校出身、大石 玲央さん 静岡市立蒲原中学校出身)